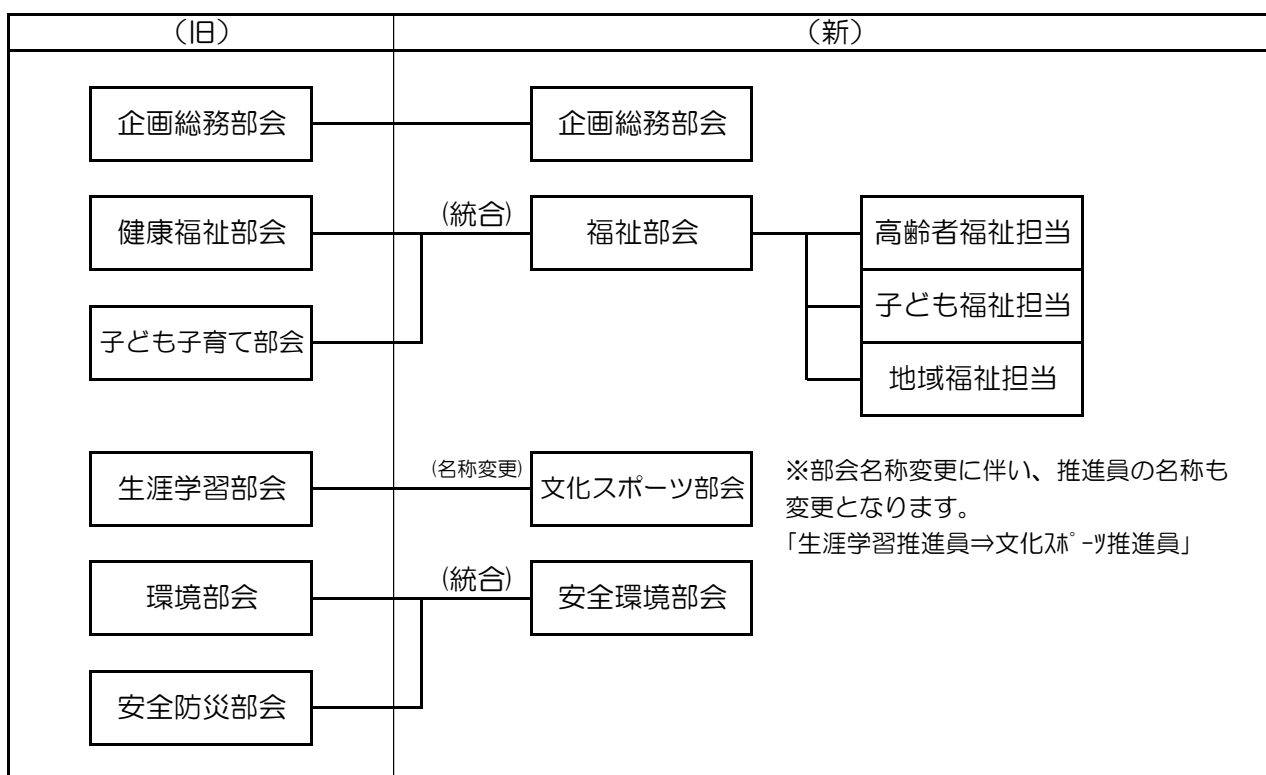


人口(男)	1,744	(-19)
(女)	1,843	(+2)
計	3,589	(-17)
世帯数	1,374	(+1)
(3月末現在) (先月比)		



令和5年度定期総会開催される!

4月22日(土)令和5年度吉江地域づくり協議会定期総会が吉江交流センターで開催しました。この総会にて、令和4年度の事業及び会計報告、並びに令和5年度事業計画及び予算案について審議され、原案通り承認されました。又、事務局より協議会組織改編について上程し、事務局提案の通り可決承認されました。組織の改編については次のとおりです。



令和5年度事業計画 (各部会主な事業)

企画総務部会	文化スポーツ部会	安全環境部会	福祉部会		
			地域福祉担当	高齢者福祉担当	子ども福祉担当
<ul style="list-style-type: none"> 「広報よしえ」発行 がんばる吉江いきいき祭り開催 住民アンケート集計結果報告 まちづくり基本計画の見直し 	<ul style="list-style-type: none"> 住民軽スポーツ大会 加-リッパ 体験会 ふれあい文化祭 さつま芋定植と収穫 そば打ち体験教室 桜ヶ池遊歩道ウォーキング & バイク 	<ul style="list-style-type: none"> 防災避難訓練 救命救急講習 防犯パトロール 交通安全運動 各地区花壇整備 福光駅前花飾り作業 	<ul style="list-style-type: none"> ふれあい食堂 サロン、ケアネット チームサポート事業 	<ul style="list-style-type: none"> 健康ウォーク eスポーツ体験会 ルビ予防の取組 健康麻将大会 敬老会 	<ul style="list-style-type: none"> ふれあい広場 子ども安心ネットワークの検討 (相談窓口開設)



令和5年度予算の概要につきましては、次月号でご案内させていただきます。

令和5年度事業計画から!! 3世代交流住民運動会開催の是非

毎年、文化スポーツ部会(旧生涯学習部会)の事業として3世代交流住民運動会を開催して来ましたが、ここ3年コロナ感染拡大により開催を見合わせておりました。しかし、住民運動会開催に向けて地域内容の課題が大きく取り上げられ、各地区の推進員の方々から

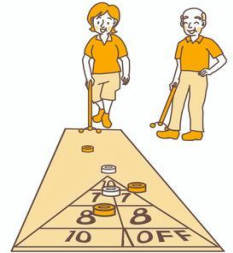
1. 少子化により、地区によっては子どもが少人数で、子どもを含めた競技に参加することが出来ない。
2. 従来の地区割りによるチーム編成では、各地区の世帯数・人口数に大きな隔たりがあり、選手を集めるのに非常に困難な地区がある。かと言って、地区割りを見直すのにも無理がある。

チーム(地区名)	世帯数	人口
高宮・小林	177	534
荒木・下野	606	1,437
田中・一日市	206	559
遊部・吉江中・角田 (のぞみ含む)	292	834
荒木町・角田町	85	217

※令和5年3月末現在



輪投げ



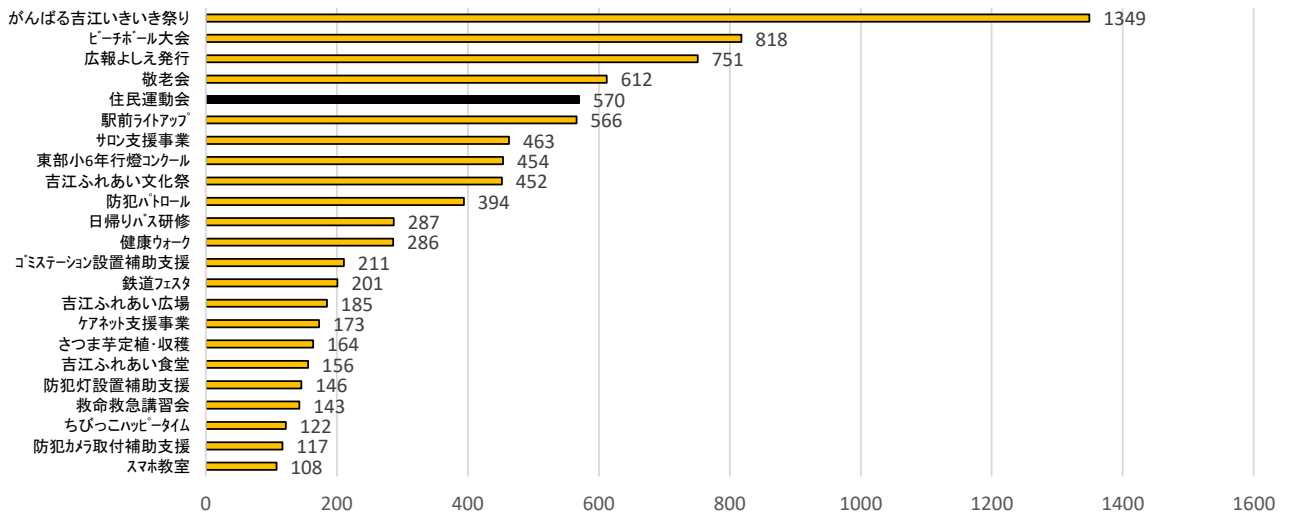
シャッフルボード

又、昨夏実施した住民アンケートの結果(下グラフ参照)からも運動会開催に前向きな意見は見受けられず、運動会開催について一旦クローズし、軽スポーツを中心とした住民交流事業を開催する事で承認を得ました。

吉江地域まちづくりアンケート集計結果報告 vol.2

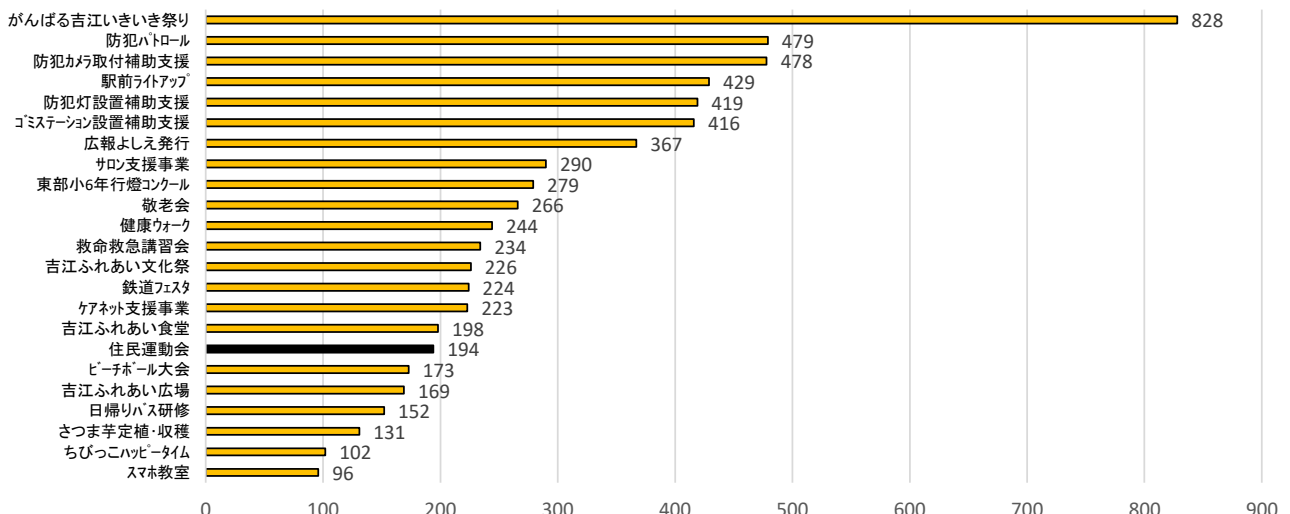
吉江地区行事の認知度 吉江地域づくり協議会で取組んでいる事業をご存じですか？

単位：回答数

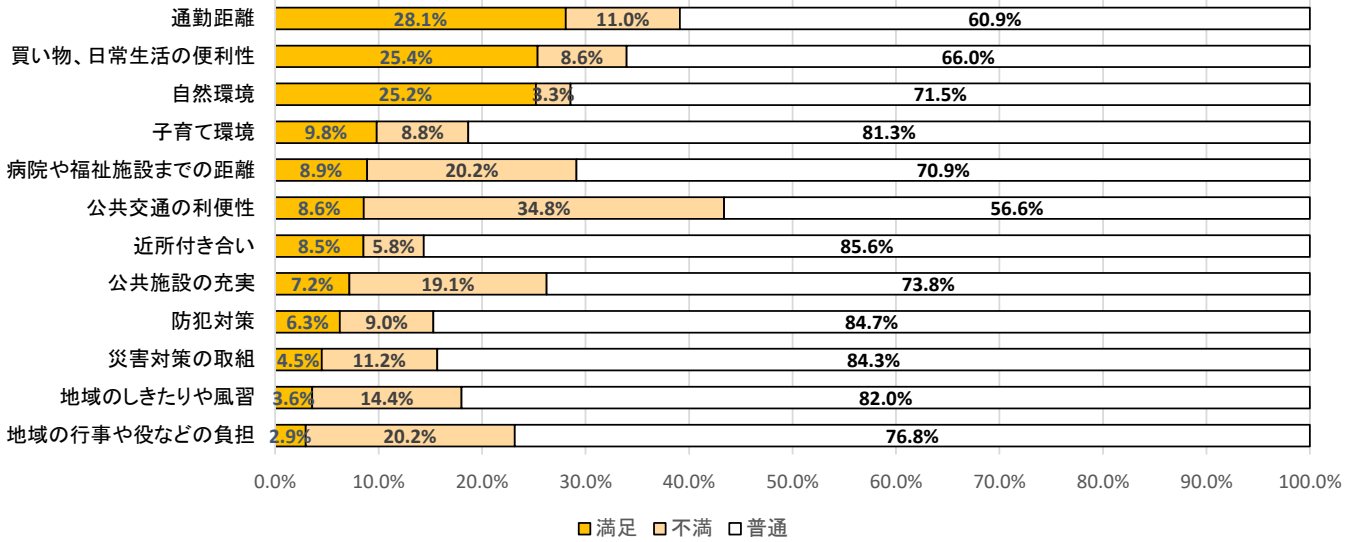


吉江地区行事の継続の有無 上記の事業でこれからも続けて行ってほしい事業は何ですか？

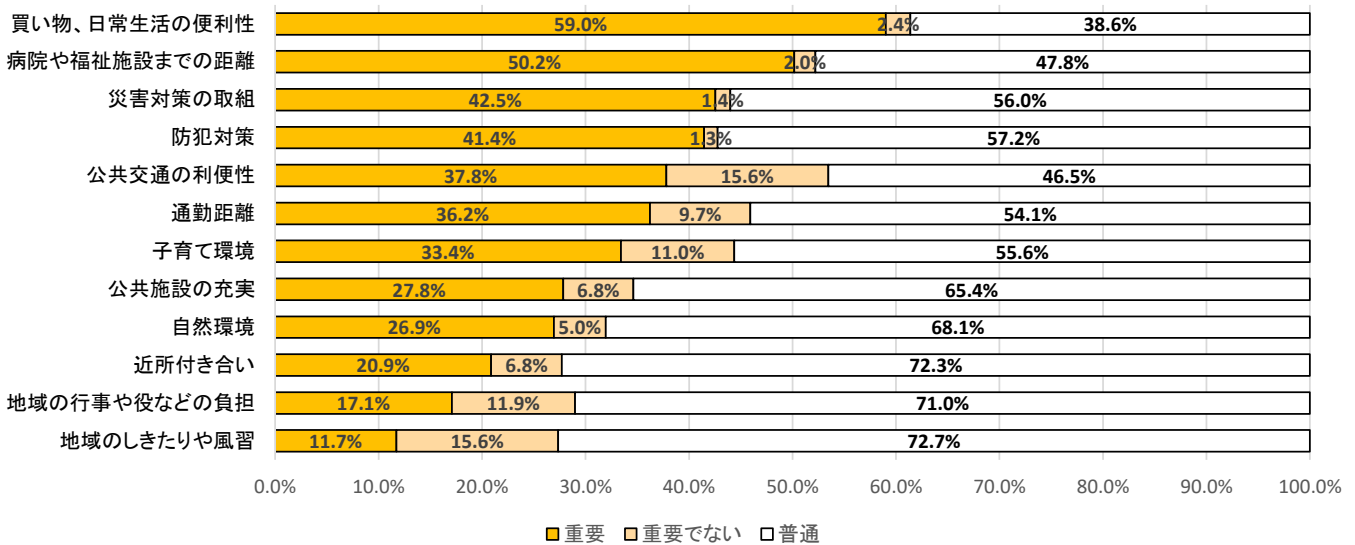
単位：回答数



生活環境についてのあなたにとっての満足度



生活環境についてのあなたにとっての重要度



買い物、日常生活の利便性については、吉江地区内に2箇所の大型食品スーパーがあることから、約9割近くが満足しているようです。また、公共交通の利便性については、JR城端線・路線バス・なんバスとの有機的な結びつけが重要で福光駅を中心とする吉江地区内でも改善を望む声が多いようです。

高宮環境保全会 北陸農政局多面的機能発揮促進事業優良活動表彰を受賞

高宮環境保全会では、農業者の高齢化が進む中、水路の泥上げ等の活動に非農業者が多数参加することで、担い手の負担軽減が図られ、農地集積が進んでいる。また、児童クラブ母親クラブと連携して、手植えによる田植え体験を行うなど、地域住民参加型の企画を実施している。

代表的な取り組みとして「小中高生」、「一般」の2部門を設けて、環境保全に関する標語やポスターを募集し、優秀作品をのぼり旗やポスターにして、美化運動に活用している。

また、約300年前から続く伝統行事である「熱送り」について、活動組織が中心となり、地域の子もたちと共に取り組むことで、地域コミュニティの活性化が図られている。

以上の活動が評価され、去る3月14日(火)金沢市内において、北陸農政局より多面的機能発揮促進事業優良活動表彰を受けられました。



高宮環境保全会 長橋孝次代表が北陸農政局で表彰される

吉江地区の獅子舞

皆さんお待ちかね！？

『あれこれよしえ』の第2弾が今月からスタートします！

今回のシリーズは…

吉江地区に古くから伝わる『獅子舞』についてのご紹介です！

私たちの住む地域には、伝統的な獅子舞や保育園児が神社に奉納する獅子舞が存在しています。各獅子舞の特徴や獅子舞を継承する方々のお話しなどを交えながら、南砺市文化・遺産課が平成28年度に実施した調査に基づき開設された「南砺市文化芸術アーカイブス」のデータ分類を用いて、地元で伝わる情報を全力でお届けします！

※獅子舞には多様な解釈が含まれるため、ご紹介内容に不備やお気づきの点がございましたら、どうぞお聞かせください。

(角田町編) vol.1

今から108年前の大正4年、大正天皇御大典（御大典ゴタイテン：即位の礼から大嘗祭へ至る一連の儀式の総称）を祝うために舞われたのが、角田町獅子舞のはじまりです。当初は、角田と角田町が一緒になって獅子舞を披露していました。しかし、戦争により中止を余儀なくされています。

戦後、角田町が独立整備し、昭和22年の春季祭礼へ向けて2月頃から、踊りの曲目や振り付けなどを苦労して作り上げ、同年4月15日午前10時に角田町神明宮での奉納を皮切りに、吉江中「日吉社」、角田町町内、観音町、東町、川原町、荒木町の地域を巡り、再び神明宮での総踊りで締めくくりました。夜20時40分を過ぎていたとのこと。昭和24年には、五ヶ山・小来栖山より獅子方3名を招き、「踊り獅子」の練習を充実させていきました。

獅子舞に携わる者は町内の長男「あんま」に限られた頃もありましたが、今では、踊り子を町内在住の全ての児童、さらには町外に住む所縁ある子供たちにも応援してもらい、獅子舞を継承しています。

コロナ禍により4年間休止していましたが、今年は久しぶりに奉納されました！お話をうかがった保存会の方によると、町内で育った方々は、踊り子の獅子取りや獅子頭の舞い、太鼓鉦、笛の音を聞くと心がうきうきとなり、神明宮境内での練習に息がはずんだとの事です。

今日の頑張りや明日への活力がみなぎり「やっぱり獅子舞は良いもんだ！！」と、笑顔でお話しされました。



4月16日に行われた角田町の獅子舞

奉納 春季祭礼（4月第3日曜日）

獅子舞の形態 百足獅子（蚊帳1列5名）、氷見獅子（伝播型）

獅子頭の種類 雌獅子

獅子頭の製作 ①得地斧山（年月日不詳、昭和22年4月頃）

②得地秀生（昭和62年12月）

獅子取の種類 獅子取り（踊り獅子）

採り物の種類 花笠、短棒

楽器（花屋台） 大太鼓、小太鼓、横笛、鉦（かね）、拍子木

演目名 ①宮参り②祇園囃子③吉崎④新吉崎⑤新祇園囃子⑥京振⑦七五三

他道中音頭の計8曲

踊り子 保育園児～中学生

保存団体 角田町獅子舞保存会

参照：南砺市文化芸術アーカイブス

<https://culture-archives.city.nanto.toyama.jp/culture/shishimai/shishimai0098/>

【御礼】取材にご協力いただいた角田町獅子舞保存会の方、ありがとうございました。

記：谷井 珠恵
（企画総務部 広報委員）

